

第400号 令和6年5月

東京都農業会議情報

編集及び発行 (一社)東京都農業会議

渋谷区代々木3-25-3
TEL 03-3370-7145

農地長期貸借
促進奨励事業
がはじまりました

令和6年4月より、農地の貸借を10年以上契約した

令和7年度東京都農業施策に関する意見

東京都農林水産部長らに手渡す

都農業会議は4月19日、農業委員会法第53条に基づく意見として「令和7年度東京都農業施策に関する意見」を都に提出しました。

農業会議の正副会長ならびに地区農業委員会連合会・協議会の代表らが都庁を訪問し、田中慎一産業労働局長と榎園弘農林水産部長に面会して知事宛の意見書を手渡ししました。



都の榎園農林水産部長(右から3人目)に意見書を手渡す

都農業会議の全文は農業会議ホームページで公開(<https://www.tokai.gr.jp/>)。

第35回島しょ農業委員会・農業者大会開く

島しょ農業委員会協議会



挨拶をする沖山会長

島しょ農業委員会協議会(沖山慶孝会長)は、5月13日、14日に第35回島しょ農業委員会・農業者大会を開きました。東京都の河野章農業基盤整備担当課長および都農業会議の青山侑会長が来賓として挨拶をしました。

「東京都農作物生産状況調査」ご協力のお願い

今年度も「東京都農作物生産状況調査」を、東京都指定統計調査第6号として、都内全域で実施いたします。

本調査は、令和5年1月～12月に東京都内で生産さ

れた各農作物の作付面積や出荷量などを調査する重要な統計調査です。農業委員、農地利用最適化推進委員、農業者の皆様には、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



自らの経営を説明する岩沢会長

大会の協議では、前回大会において決定した島しょ農業委員会活動の積極的推進に関する決議と東京都への施策要望について確認をし、これらの決議や要望に基づいた活動等を推進する旨の申し合わせを行いました。

また、河野課長から東京都の島しょ関連の施策について、都農業会議から農業委員会活動について説明しました。

(株)シンクスシンクス代表取締役の島野麻里氏による講演「HOW TO MAKE 特産品」の後、島野氏を進行役に、ブレインストーミングを体験し、効果的な話し合いの技法を研究しました。

2日目は、日野市農業委員会の岩沢宏会長の花木経営やNPO法人多摩草むらへの会の農福連携の取組について現地での研究を行いました。

あぜみち

改正食料・農業・農村基本法が5月29日成立した▼
現行の「食料の安定供給の確保」から「食料の安全保障の確保」を基本理念に掲げるが、自給率、環境、価格形成、地域振興など国会での議論はかみ合わなかった▼平成11年同法制定時は全会一致だっただけに日本農政の行方が気になる。来春の「基本計画」策定までの過程を注視しなければならない▼本紙東京都農業会議情報が400号となった。創刊時の昭和33年の記録を見ると全国組織が「農業基本法制定促進」を決議し、翌34年には本会総会で「農業基本法制定について訴う」を決議している。旧法制定は同36年だから各所相当の議論を積み重ねたことに違いない▼昭和29年設立の本会は70周年を迎えるが、組織活動の基本となる適切な情報活動に努めることは今も昔も変わらない。

農地長期貸借促進奨励事業創設で都内全域が対象に

農地を10年以上貸借する貸付者に奨励金を交付

生産緑地や市街化区域外において、農地の貸借が進んでいます。

昨年度、生産緑地を対象に長期貸借を奨励する事業が創設されましたが、今年度からはじまった「農地長期貸借促進奨励事業」では、生産緑地のほか、市街化区域外の農地を10年以上貸借すること、貸付者（貸し手）に対し東京都から奨励金が交付されることとなりました。

この事業の狙いは、新規就農者や経営規模拡大を意向する農業者に対し、長期間の安定した貸借を行うことで、長期的な展望にたった営農が実現できるよう促すものです。

「農地長期貸借促進奨励事業」の交付要件は、①生産緑地（都市農地貸借円滑化法）、②市街化区域外（農地中間管理事業）で異なり、交付要件は左記のとおりとなります。

【生産緑地】

都市農地貸借円滑化法により、10年以上の貸借（有償貸借）を結んだ貸付者（所有者）。

借受者（法人は代表）は、貸付者と二親等内以外の者などであること。

交付金額は、貸借面積（10㎡未満切捨て）に奨励金単価を乗じた金額となり、奨励金単価は1,000㎡あたり、区内で30万円。市内で20万円。

10年未満で貸借を解約した時（例外規定事項を除く）は、奨励金を返還することとなります。

【市街化区域外の農地】

農地中間管理事業により、10年以上の貸借（無償・有償ともに対象）を行った貸付者（所有者）に交付。

生産緑地と異なり、借受者の要件があります。

借受者（法人は代表）は、貸付者と二親等内以外の者などであり、

①認定農業者、②認定新規就農者、③地域計画のうち目標地図に位置づけられているまたは位置付けられることが確実と見込まれる者及び法人、④奥多摩町、利島村、御蔵島村、青ヶ島村の農地を借り受ける当該町村に在住する

者及び所在する法人、⑤東京農業アカデミー八王子研修農場または東京都農林総合研究センター農業技術研修園芸コースにおいて農業研修を受講し、修了したまたは修了の見込みのある者、⑥都内区市町村が実施する農業者育成を目的とした研修制度において農業研修を受講し修了したまたは修了の見込みのある者、

⑦東京都指導農業者または都内認定農業者の指導による農業研修を年間250日以上受けた者のいずれかひとつ以上を満たしている者となります。

交付金額は、貸借面積（10㎡未満切捨て）に奨励金単価を乗じた金額となり、奨励金単価は1,000㎡あたり、農振農用地で20万円、農振農用地以外で10万円となります。

10年未満で貸借を解約した時は、奨励金を返還することとなります（例外規定事項を除く）。

今年度中に開始した貸借は今年度中に申請が必要となりますので、ご留意ください。

事業の相談については、都農業会議へお問合せください。

理事会・常設審議委員会だより

○第1回常設審議委員会

4月19日に渋谷区代々木のJA東京南新宿ビルで令和6年度第1回常設審議委員会を開催した。

報告事項として、①東京都から農地法の第4条（1件・330.87㎡）・第5条（1件・268.70㎡）の農地転用許可（3月）の状況、②農業会議から農地中間管理権の取得と使用収益権の設定・移転（4月）の状況について、それぞれ報告を行った。

○第2回常設審議委員会

理事会に引き続き、第2回常設審議委員会を開催した。

報告事項として、①東京都から農地法の第5条（3件・759㎡）の農地転用許可（4月）の状況、②農業会議から農地中間管理権の取得と使用収益権の設定・移転（5月）の状況について報告を行った。

協議事項の令和6年度農林関係税制改正に関する要望事項は、（一社）全国農業会議所に提出する税制改正要望の内容について協議し、原案のとおり提出することに決定した。

○5月理事会

5月21日に渋谷区代々木

都内における生産緑地の貸借(都市農地貸借円滑化法・特定農地貸付法)の状況について(2024.3末現在数・農業委員会決定したもの)

Table with 10 columns: 区市名, 件数(件), 貸付け種別件数, 面積(m²), 借受者. Rows include 区内, 西多摩, 南多摩, 北多摩, 合計, 割合(%).

都農業会議では、生産緑地の都市農地貸借円滑化法(以下、円滑化法)による貸借や市民農園の開設について調査し、件数等を取りまとめました(令和6年3月末日現在)。

都内における生産緑地の貸借状況 令和6年3月末の状況まとめ

円滑化法による生産緑地の貸借は、都全体で317件でした。そのうち、相続税納税猶予制度適用農地は約45%でした。貸借の内訳は貸借が約16%、使用貸借は約84%となっています。

また、生産緑地での市民農園の開設は、都全体で131件となり、そのうち相続税納税猶予制度適用農地は約44%となっています。

Table with 7 columns: 件数(件), 都市農地貸借円滑化法, 特定農地貸付法, 面積(m²). Rows include 所有者, 区市, JA.

地域計画の策定に向け現地コーディネーターを派遣

東京都農業会議

令和5年4月1日施行された農業経営基盤強化促進法の改正によって、「人・農地プラン」は「地域計画」と名称をかえて同法に位置付けられました。

将来にわたって地域の農業と農地を残していくために、①誰が耕作を担うのか、②耕作を担う人が経営しやすい環境をどう整えるか、地域で一体となって考えていくことが地域計画の取り組みです。

地域計画の策定にあたり、農業委員会は10年後に目指す地域の農地利用を示した「目標地図」を作成するほか、市町村や関係機関との協議や、地域での話し合いへの参加などの役割が求められます。

このことから都農業会議では、市街化区域以外に農地のある市町村を中心に、現地コーディネーターとして職員を派遣するなどし、地域計画策定に向けた取組みの支援を行ってまいります。

具体的には、市町村や農業委員、関係者との打合せへの参加や各地の優良事例の紹介、農地所有者等へのアンケート素案の作成等を行った

令和5年度農地中間管理事業による貸借契約等の締結状況

令和6年3月31日現在

Table with 7 columns: 市町村名, 借受実績(人数, 筆数, 面積), 貸付実績(人数, 筆数, 面積). Rows include 立川市, 武蔵村山市, 青梅市, etc.

集計は、貸借の始期日を基準とする。

八王子市、青梅市、新島村は、中間保有からの貸付けを含む。

ほか、農家座談会や地域での協議の場等に出席し、農地中間管理事業の説明を行いました。現地コーディネーターとして

て地域で活動することで、貸借候補となる農地の紹介を受けるなど、担い手への新たな農地貸借にもつながっています。今年度も、市町村や農業委員会及び関係団体と連携を深め、地域計画の策定に向けた支援を続けていきます。

生産緑地の貸借に関する意向調査 結果概要

都農業会議は、東京都の委託を受け、生産緑地の貸借に関する意向調査を実施しました。ここに調査結果の概要を報告します。

【調査名】

生産緑地の貸借に関する意向調査

【調査対象者】

生産緑地のある都内36区市の農地台帳に登録されている農家5千792件

【調査結果】

(1)貸し出す意向

「貸したい」が8・4％。9割以上が「貸す意向なし」と回答した。

希望する貸し出し面積については「10～20㍎」が最も多く38％であった。

(2)借り入れる意向

「借りたい」が3・2％。9割以上の回答者が「借りる意向なし」と回答した。

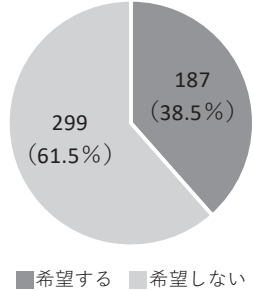
希望する借り入れ面積については「20～40㍎」(40・9％)が最も多く、次いで「10～20㍎」(37・7％)であった。

(3)まとめ

貸し出す意向と借り入れる意向について、どちらも「意向なし」という回答が9

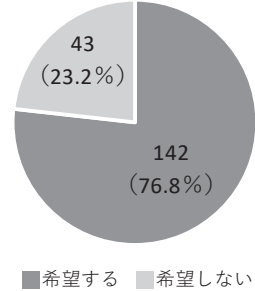
割以上となり、多くの回答者が現状維持を望む一方、一部は「意向あり」と回答しており、特に「借りたい」という意向に対しては、76・8％の回答者が情報提供を希望するなど早急な対応が求められている。回答者ごとに、貸借に求める条件は様々であり、適切なマッチングによる貸借を進めるための支援体制の構築が重要となる。

貸し出し意向について情報提供を希望するか



希望する 希望しない

借り入れ意向について情報提供を希望するか



希望する 希望しない

令和5年度農作物生産状況調査 結果概要

都農業会議は、東京都の委託を受け、令和4年産の東京都農作物生産状況調査をとりまとめました。

本調査の実施にあたりましては、調査対象者各位はもとより、農業委員会をはじめ区市町村、JA、関係機関より多大なるご協力をいただきましたこと、あらためてお礼申し上げます。

また、本調査は、平成19年産以降、毎年、実施しています。本年度も、本調査の実施につきましてご協力を賜りますこと、あらためて、お願いいたします。

ここで、調査結果の概要などを報告します。

【調査名】

東京都農作物生産状況調査(令和4年産)

【調査対象期間】

令和4年1月～12月

【調査対象区市町村】

49区市町村(農地のある都内区市町村※北区を除く)

【調査対象者】

農地台帳に登録されている農家。

【対象作物】

野菜・花き・果樹・穀類・野菜・花き・果樹・穀類・

野菜・花き・果樹・穀類・

7千294戸(有効回答率約95・0%)

【調査結果概要】

東京都全体・地区別・区市町村ごと

① 農業産出額Ⅱ5ページに掲載

② 農業産出額順位(野菜・果樹・花き・工芸作物のみ対象)Ⅱ5ページに掲載

③ 平成26年産～令和4年産の東京都の農業産出額順位上位5品目および構成比Ⅱ左記に掲載

東京都の農業産出額順位 上位5品目・構成比

Table with 9 columns and 5 rows showing agricultural production trends for top 5 products (Tomato, Corn, Eggplant, etc.) from Heisei 27 to Heisei 30, Reiwa 1 to Reiwa 5.

- ① 調査対象者 1万1千897戸
② 調査回収 7千680戸(回収率約64・6%)
③ 有効回答

東京都農作物生産状況調査結果概要(令和4年産)

区 分	作付面積 (ha)	農業産出額 (百万円)	農業産出額順位(野菜・果樹・花き・工芸農作物の順位のみ掲載)				
			1位品目	2位品目	3位品目	4位品目	5位品目
目黒区	2.4	1	トマト	ブドウ	コマツナ	ナス	キュウリ
大田区	1.5	9	シクラメン(鉢もの)	トマト	ナス	キュウリ	コマツナ
中野区	3.0	18	トマト	カリフラワー	ナス	エダマメ	カンショ
世田谷区	77.2	214	ブドウ	トマト	エダマメ	キュウリ	コマツナ
杉並区	47.2	291	トマト	ナス	コマツナ	エダマメ	キュウリ
板橋区	6.5	20	ブドウ	トマト	ダイコン	エダマメ	パレイシヨ
練馬区	246.9	1,055	トマト	キャベツ	エダマメ	ブドウ	ブルーベリー
足立区	108.4	659	コマツナ	エダマメ	トマト	ムラメ	キク(切花)
葛飾区	66.4	345	コマツナ	エダマメ	トマト	ネギ	ナス
江戸川区	171.7	1,335	コマツナ	トマト	エダマメ	タカナ	シュンギク
特別区計	731.3	3,958	コマツナ	トマト	エダマメ	キャベツ	ナス
青梅市	391.3	1,014	トマト	ナス	キュウリ	パレイシヨ	ブルーベリー
福生市	6.2	31	トマト	バンジー・ビオラ(花壇用苗もの)	ナス	ナバナ	ネギ
あきる野市	291.4	1,011	トマト	スイートコーン	ナス	ネギ	キュウリ
羽村市	35.8	161	トマト	ナス	キュウリ	バンジー・ビオラ(花壇用苗もの)	ネギ
瑞穂町	149.3	752	トマト	ネギ	ナス	キュウリ	バンジー・ビオラ(花壇用苗もの)
日の出町	76.5	258	トマト	ナス	ジャガイモ	カンショ	ブルーベリー
奥多摩町	30.0	163	ワサビ	トマト	パレイシヨ	ナス	キュウリ
檜原村	28.8	113	パレイシヨ	ミョウガ	ナス	サクラソウ(鉢もの)	シクラメン(鉢もの)
西多摩計	1,009.2	3,503	トマト	ナス	ネギ	キュウリ	パレイシヨ
八王子市	725.0	2,500	トマト	ナス	コマツナ	ハウレンソウ	キュウリ
町田市	452.0	1,832	トマト	ナス	ハウレンソウ	コマツナ	キュウリ
日野市	122.8	858	ニホンナシ	トマト	ブルーベリー	ブドウ	ナス
多摩市	27.5	111	トマト	ブルーベリー	ナス	エダマメ	ネギ
稲城市	109.8	1,016	ニホンナシ	ブドウ	トマト	ナス	カキ
南多摩計	1,437.1	6,318	トマト	ニホンナシ	ナス	ブルーベリー	コマツナ
立川市	313.1	1,025	トマト	ハウレンソウ	コマツナ	ニホンナシ	フロッコリー
武蔵野市	40.3	205	トマト	ブドウ	コマツナ	ニホンナシ	エダマメ
三鷹市	184.9	899	トマト	ナス	ブドウ	ブルーベリー	エダマメ
府中市	71.6	329	トマト	ニホンナシ	コマツナ	エダマメ	シイタケ
昭島市	45.5	243	ニホンナシ	トマト	コマツナ	ハウレンソウ	バンジー・ビオラ(花壇用苗もの)
調布市	144.6	672	トマト	ブドウ	コマツナ	エダマメ	ナス
小金井市	68.4	296	トマト	コマツナ	ナス	ハウレンソウ	ミズナ
小平市	213.2	943	ニホンナシ	トマト	ナス	コマツナ	ブドウ
東村山市	146.7	825	ニホンナシ	トマト	ブドウ	カンショ	バンジー・ビオラ(花壇用苗もの)
国分寺市	144.8	554	トマト	ブルーベリー	ナス	エダマメ	ハウレンソウ
国立市	41.4	219	トマト	コマツナ	ハウレンソウ	ナス	ニホンナシ
西東京市	156.0	879	トマト	コマツナ	キャベツ	ニホンナシ	ハウレンソウ
狛江市	33.4	165	トマト	エダマメ	ナス	ネギ	コマツナ
武蔵村山市	94.3	329	トマト	コマツナ	ハウレンソウ	ニホンナシ	ナス
東大和市	52.6	214	ニホンナシ	トマト	ハウレンソウ	ナス	ダイコン
清瀬市	211.0	907	ハウレンソウ	ニンジン	トマト	ミズナ	コマツナ
東久留米市	177.7	719	ハウレンソウ	トマト	コマツナ	エダマメ	ニホンナシ
北多摩計	2,139.5	9,421	トマト	ニホンナシ	ハウレンソウ	コマツナ	エダマメ
多摩地域計	4,585.8	19,242	トマト	ニホンナシ	ナス	ハウレンソウ	コマツナ
大島町	212.0	352	ブアルディア(切花)	アスタバ	ツバキ(実)	ガーベラ(切花)	センリョウ(切枝)
利島村	151.1	59	ツバキ(実)	シドケ	アスタバ	-	-
新島村	20.8	94	アスタバ	カンショ	レザーファン(切葉)	タマネギ	トマト
神津島村	15.7	85	アスタバ	レザーファン(切葉)	スイカ	ミニトマト	カンショ
三宅村	35.0	225	アスタバ	ドラセナ(切葉)	キキョウラン(切葉)	サカキ(切枝)	ルスカス(切葉)
御蔵島村	6.2	22	アスタバ	エビネラン(鉢もの)	パッションフルーツ	サトイモ	トマト
八丈町	299.1	2,050	フェニックス・ロベレニー(切葉)	アスタバ	フェニックス・ロベレニー(観葉鉢もの)	ルスカス(切葉)	レザーファン(切葉)
青ヶ島村	3.8	15	カンショ	フェニックス・ロベレニー(切葉)	パッションフルーツ	キキョウラン(切葉)	ゲットウ(切葉)
小笠原村	15.9	125	パッションフルーツ	ミニトマト	レモン	マンゴー	コーヒー
島しょ計	759.6	3,027	フェニックス・ロベレニー(切葉)	アスタバ	フェニックス・ロベレニー(観葉鉢もの)	ルスカス(切葉)	レザーファン(切葉)
東京都計	6,076.7	26,228	トマト	コマツナ	ニホンナシ	ナス	フェニックス・ロベレニー(切葉)

※ 植木と畜産は除く

※ 公式な数値結果は、東京都より公表されます。

生産緑地バンクの設置や活用に向け

都市農地流動化協議会開く

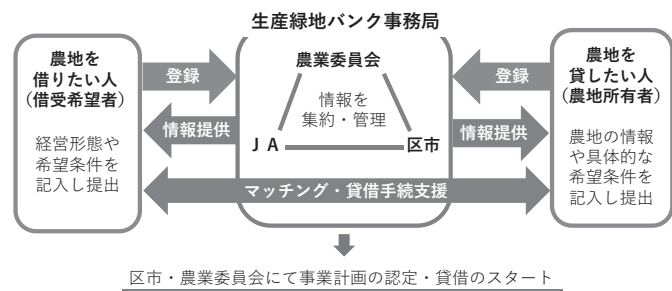
都農業会議は、5月17日にJA東京南新宿ビルにて、JA東京中央会の協力を得て、都市農地流動化協議会を開きました。

本協議会は、都市農地貸借円滑化法を活用した生産緑地の貸借をさらに推進するとともに、生産緑地を「貸したい」や「借りたい」といった意向を農業委員会やJAで整備し、貸借のマッチングにつなげる「生産緑地バンク」などの活動について研究するため開いたものです。

はじめに都農業会議や東京都から貸借の制度や状況、東京都の施策などについての説明を行いました。

また、江戸川区、立川市、昭島市、西東京市、JAM

生産緑地バンクを中心としたマッチングの取組イメージ



全国農業新聞を購読・普及しましょう

全国農業新聞は、農業者の公的機関である農業委員会組織が発行する農業総合専門誌です。

農政の動き、農地制度、税制など日々の農業委員活動に求められる情報や魅力的な農家・地域の

取り組みをコンパクトにまとめて提供しています。農業委員・農地利用最適化推進委員各位には農家相談などを通じて1人1部以上の普及にご協力お願いいたします(月4回発行・年間8400円)。

農業経営者セミナーを開きます

農業経営者セミナーを開きます。確定申告の基本を知りたい方、経営管理を見直したい方など、ぜひご参加ください。

日時：6月19日(水)
午後3時～5時
会場：TKP新宿カンファ

レンスセンター4階4D
講演会「今日から使える税制等の基礎知識」
講師：吉川順子さん
(税理士・中小企業診断士)
オンライン参加も可能です。農業会議ホームページよりお申込みください。

猛暑等の影響および対策に関するアンケート結果

都農業経営者クラブ(吉野光政会長)と都農業法人協会(北島一夫会長)はこのほど、「猛暑等の影響および対策に関するアンケート結果」を公表しました。

「温暖化による年平均気温の上昇」や「真夏日の増加によって起きる生産現場への影響」について会員から371件の回答を得ました。

「収穫量の減少」や「生育障害の発生」など9割近くが猛暑による影響を実感していました。その対処として「作業時間の変更」や「資材の活用」などのほか「ハウスの改良」「灌水施設の導入」といった設備の整備まで踏み切った例もありました。

アンケートでは、効果的な対策についての情報提供や、

令和6年度東京都農業会議事務局新体制

令和6年度の(一社)東京都農業会議の体制は次の通りです。

会長 青山 侑ゆすけ
副会長 吉川庄衛
副会長 野崎啓太郎
事務局長 相原宏次
事務局次長 松澤龍人

◆総務部
部長 田中誠、主任 小嶋俊洋、主任 山本直子、アシスタントスタッフ 井上喜代子、宇佐美寿子

◆業務部
部長 松澤龍人、部次長 村田好光、主任 森淳子、主任 飯田淳二、主任 金井望、主事 大森継之助、主事 太田総一郎、主事 本間百展、農地中間管理事業推進員 瀬川大樹(新任)、農地中間管理事業コーディネーター 板橋久夫、経営改善アドバイザー 鈴木結花、アシスタントスタッフ 徳野れい、東川昭子、高橋佳恵

6月～7月の日程

- 6・5 (水) 農業者年金担当者会議
- 6・6 (木) 農地中間管理事業担当者会議
- 6・6 (木) 新規就農・貸借担当者会議
- 6・7 (金) 担い手育成会議
- 6・7 (金) 主任職員協議会
- 6・7 (金) 都職研総会・役員会
- 6・12 (水) 北多摩北検討会
- 6・17 (月) 島しょ検討会
- 6・18 (火) 担い手育成総会
- 6・18 (火) 通常総会
- 6・18 (火) 事業推進協議会
- 6・18 (火) 理事会
- 6・18 (火) 常設審議委員会
- 6・19 (水) 都農業経営者クラブ総会
- 7・1 (月) 北多摩西検討会
- 7・3 (水) 区内検討会
- 7・9 (火) 西多摩検討会
- 7・12 (金) 北多摩南検討会
- 7・17 (水) 理事会
- 7・17 (水) 常設審議委員会
- 7・18 (木) 南多摩検討会
- 7・24 (水) 農業者年金推進会議